資料１

第2回
世田谷区立砧中学校改築基本構想検討委員会　議事要旨（案）

日　　時	令和 8 年 7 月 31 日（水）午前 10 時 00 分～午前 11 時 40 分
場　　所	砧中学校　ランチルーム
議　　題	1. 第1回検討委員会議事要旨の確認について 2. 基本方針（素案）について 3. 配置計画（案）について 4. アンケート（案）について 5. 生徒ワークショップ（案）について 6. 中間説明会について 7. 改築だよりについて
配 布 資 料	資料1　第1回検討委員会議事要旨（案） 資料2　基本方針（素案） 資料3　配置計画（案） 資料4　アンケート（案） 資料5　ワークショップ実施（案） 資料6　砧中学校改築だより（第2号） 資料7　砧中学校改築だより（第3号）（案）

議　　題	議事内容（要旨）	
1. 第1回検討委員会議事要旨の確認について	事務局	・第1回検討委員会議事要旨を確認。修正の必要があれば8/10（月）までに連絡いただきたい。修正があった場合は修正後再度配布し、その後区のホームページで公表する。
2. 基本方針（素案）について	事務局	・前回検討委員会にて提示した基本方針（たたき）の修正点を説明。
	委員	・砧中学校らしさはどの項目に反映されているのか、基本方針をみてわかりやすいことが望ましい。
	委員	→「古墳」や「緑豊かな環境」が入っている点がよい。また、砧には街並みの美しさがあるため、「地域との調和」という言葉もよい点と考える。現在も外壁の色や木の設えなど工夫されている。
	委員	→生徒自身も「緑の豊かさ」は意識している。
	委員	・「保育園」が主語となる項目もあっていいのではないか。例えば「遊び」に関しては「保育環境」とするなど。
	事務局	→含める方針で検討する。
	委員	・「古墳」よりも「緑豊かな環境」の方が地域からの認知度が高いと思われるので、順番を入れ替えたほうがいいのではないか。
	事務局	→順番は入れ替える。
	委員	・砧中の良さは、「砧の学び舎」として同じ地域で一貫した学びを継続できる環境にもあると考える。
	委員	→地域として各学校同士が繋がっているため、「繋がり」という言葉を入れてはどうか。
	委員	→施設整備として「繋がり」を表現する難しさもあることは認識しているが、小学生が校舎をみてその「繋がり」を実感してもらえるとよ

		い。
	委員	→施設整備として表現することが難しい場合は、小学生を対象にしたアンケートも実施予定のため、そこからの意見を反映することとしたい。
	委員	→今回複合する保育園も含めて、保育園から中学校の「学びの継続性」という内容を加えるとよいのではないか。
	事務局	→盛り込む方針で検討する。
3. 配置計画(案)について	委員	・「砧の学び舎」という観点からは、交流スペースが中学校と保育園の交流に限らず、例えば屋内プールを利用する小学生に砧中を好きになってもらえるきっかけとなるような、魅力的なスペースになる可能性を感じた。
	委員	・ゆとりを持たせた計画はよい。一方で、災害時に2階の体育館に避難する場合、車いす利用者の方々等はどのように避難するか。
	事務局	→エレベーターで移動可能。非常用電源も準備する。
	委員	・生徒と職員室の距離に懸念がある。生徒が集うところに教員がいられるスペースを確保することも検討してほしい。
	事務局	→事例としては、教室に近い廊下に職員が滞在できるスペースを設ける学校もある。職員と生徒の距離感について検討する。
	委員	・現在の校庭のトラックはカーブがきつく、運動会などで転倒やケガが多い。それも考慮したトラック配置としてほしい。
	委員	・保育園の送迎時の自転車はどのあたりに停める想定か。 →北側に駐輪スペースを設ける想定。
	委員	・南側の階段が楽しく登れる設えになるとよい。
	委員	・中学校の教材等を運ぶ車両やプールの地域利用の送迎車両の動線と、生徒の動線に配慮してほしい。
	事務局	→車両についても正門付近が主動線となる。修学旅行時のバス等の大型車両は既存給食棟の北側を経由してグラウンドへ向かう動線となる。
	委員	・既存プールを活用した多目的スペースや、古墳西側の活用は、生徒のグラウンドの一部として活動できるイメージか。
	事務局	→古墳西側はイベント時等のみで、日常的には人は入らない想定。多目的スペースは校庭の一部として活用できるようにしたいと考えている。
	委員	・記載されているスケジュールは年度始まりでの表記か。
	事務局	→年度始まりではなく、各工程にかかる期間を示している。
	委員	・古墳の存在や歴史が子供たちだけでなく周辺地域の方も感じられると良い。
	委員	→古墳の見方、展示や周知方法を工夫すると良いのではないか。
	委員	→古墳の整備に際し、既存樹木の倒木の懸念を考慮してほしい。
	委員	・資料は複数案で比較ができることが望ましい。
	事務局	→ゾーニング計画としては、諸条件により大きく差がつかないため1案のみの提示とした。今後の細かな諸室配置計画では複数案を提示する可能性もある。
	委員	・保育園の存在が外部からわかりづらいのではないか。
	委員	・教室配置について、職員室からの動線を考慮すると体育館東側に

		配置することも考えられるのではないか。
	委員	・格技室は1階に配置すれば交流の場としても活用できるのではないか。
	委員	・昇降口の設置階も検討の余地あると考える。
	委員	・安心安全の観点は重要で、職員が生徒を監視するような構造にならないように、自然な動線の中で生徒を見守れる環境が重要では。また、諸室の配置も様々な条件によって制限される部分があれば、それを前提として工夫できる部分について今後意見交換していけるとよい。
4．アンケート（案）について	委員	・卒業生向けにアンケートを実施できないか。周知方法は課題。
	委員	→1つの方法として、部活動の OB 会など活用できるのではないか。
	事務局	→検討する。
	委員	・生徒はアンケートをどのタイミングで回答するのか。好きな場所についても、誰とどのように過ごしてどう感じたのか、生徒がじっくりと考える時間を確保しないと本音は出てこないのでは。自由記述にあたり、回答例を掲載すれば生徒も自分の考えを回答しやすいのではないか。
	事務局	→アンケートは期間中であればいつでも可能である。回答例についても検討する。アンケートの趣旨がわかるように冒頭に提示する。
	委員	・小学生向けの項目に勉強に関する項目がないことが気になる。成績や評価されることに敏感になる時期だが、それらを恐れずに伸び伸びと学んでいく感覚を身に着けてほしい。
	委員	・新しい学校に望む場所の選択肢に、今の中学校には無い機能も加えてほしい。例えば和室など。
	事務局	→検討する。
5．生徒ワークショップ（案）について		（特に意見無し）
6．中間説明会について		（特に意見無し）
7．改築だよりについて	委員	・各地区のまちセン（まちづくりセンター）にも共有する予定か。
	事務局	→共有する予定である。
	委員	・PTA に校庭が使えない期間を知りたいという意見が非常に多く届いている。
	事務局	→早々に周知する。
	委員	→意見が多く出ていることは学校も認識している。PTA から、発掘調査によって歴史学習の機会が生まれるなどポジティブな面も発信してもらっているが、部活動への不安の意見などが大きい。運動会などの学校行事の際は、近隣の施設を優先的に利用できるなど配慮してほしい。部活動についても、例えば休日・土日は近隣の学校、大学等の施設を借りて、よりよい施設を活用できるという前向きな状況に持っていきたい。課題が多いことは理解しているが検討いただきたい。

	事務局	→区で検討をしているところではあるが、まだ確定した情報は無い。今後進展があれば適時発信していく予定である。
その他	委員 事務局	・建て替え期間中に災害が起こることも考えられる。防災計画についても今後知りたい。 →既存の施設は新棟が完成してから解体するため、工事中でも変わらずに活用が可能である。 ・第 3 回検討委員会は、10 月 28 日 10 時から行う。